Ｎさんは次のように発言した。

一般組合員で話すのは苦手、足が震えている。

博物館ゆきのストライキをして逮捕された。逮捕されるはずがないとおもっていたがちょうど 1 年前の 9 月＊日　早朝 5 時に　自宅で逮捕された。ただのいやからせだというのがよくわかる。逮捕勾留しても 10 日したら放置された。なにも調べにも来ない。完全黙秘の方針だか弁護士から雑談なら応じてもいいとの許可をもらった。担当刑事は雑談から巧妙に誘導するではなくいきなり直球の質問をしてくる。その都度完全黙秘で対応。接見禁止が付き家族との面会もできなかった。勾留中に会社から解雇通知がきた。面会のアクリル板越しにそれを確認した。もう一人同じ職場の副委員長は、同じ日に逮捕されたてすくに解雇通知がきたことはしっていた。45 日間の勾留を経て 11 月＊日に釈放されたが、解雇撤回闘争をしようにも弾圧はとまらない。大阪広域協は弾圧に便乗し未だに　次々と関生色の強い輸送業業者の取引を切ってきている。仕事を奪われ生活が脅かされている。たしかに世間からみたら過激な運動をしている、弾圧されても当然と見られている。一般組合員として組合活動をしてきた。世間がいうように決して過激ではなくあたりまえのことをあたりまえに言っているだけ。広域協組には何度も話し合いを求めてきた。しかし言葉を濁し約束を守らないので 2017 年 12 月に 4 日間のストライキで約束の履行をせまった。そのことを契機に 90 名近い仲間が逮捕された。京都府警は、日々雇用の組合員を本勤（正社員）にすることや理由なく拒まれた幼稚園入園の手続きに必要な就労証明の発行を要求したことを強要として組合員を逮捕。今なお接見禁止で勾留している。ひどい異常な状態。逮捕されても当然という空気。新聞記者の関生のことをもっと取り上げてほしいとの要望に、その新聞記者は足を運び取材をすることもなく「YouTube　を見たのか、あんな労働組合ということをしっているのか　大丈夫なのか」新聞記者がそのレベルだ。反社会的というレッテルをはるのもいいが私たちのことをよく知ってほしいと心からおもう。今どんな状況なのが是非広めてほしい。ストライキを威力業務妨害として逮捕起訴された。同じようにやっているのに起訴されていない仲間もいる。止まらない弾圧。いくつも用意していると警察。警察から逮捕の情報が事前に大阪広域協にリークされていた。9 月＊日の自分の逮捕の時もそうだ。早朝の逮捕、子供たちがびっくりした。弾圧のインパクト、泣く泣く泣く従業員を切らざるをえない経営者、この機に　これまでの仕返しばかりに、堂々と首を切る経営者もいる。いづれにしても不当弾圧であり国策捜査であると思っている。反戦、反核、基地反対今の国の政策に反対する集団だからつぶしてしまえという状況だと思う。

いくつもの裁判と労働委員会。相手は裁判をやらせるだけやらせ、金がなくなり疲弊し、やめなければならない状況をまっている。

これだけの人が参加してくれた。連帯の熱意に感謝している。この熱意に負けないようにしたい。自分の大好きな先輩、仲間がまだ勾留されている、この人たちを取り戻すという目的もある。闘っていきたい。それには皆さんの協力が必要。言葉にあらわされないくらい今、胸がいっぱいだ。ありがとうございます。